無料
公開講座

解説と平家琵琶演奏

鎮魂の平家物語

(一社) 日本女子大学教育文化振興桜楓会 講師派遣事業
後援／仙台市教育委員会

2018年

7月8日 日 13:30-15:30

せんだいメディアテーク１階 オープンスクエア　仙台市青葉区春日町2-1

13:30からＣＤ鑑賞　東日本大震災鎮魂合唱曲「明日を信じて―亡き友に―」

講演

13:40～14:30

栄華と滅亡を見届けた建礼門院徳子の感慨

「灌頂巻」

講師：三田 明弘 氏

(日本女子大学 人間社会学部 文化学科 教授)

演奏

14:40～15:30

平家琵琶演奏

「祇園精舎」「那須与一」

演奏：村山 宙子 氏　渡辺 一宇 氏

(仙台平家琵琶普及会)

お問い合わせ

（一社）日本女子大学教育文化振興桜楓会 宮城支部
TEL　：090-2808-6177（加瀬）
MAIL：hoteho@nifty.com（与野）

講演

「栄華と滅亡を見届けた建礼門院徳子の感慨　『灌頂巻』」

「平家物語」の棹尾を飾る「灌頂巻（かんじょうのまき）」は、平家の栄華から滅亡まで、その全てを一門の中心として見届けた建礼門院徳子（平清盛の娘、安徳天皇の母）が、自らの感慨を後白河法皇に語るという内容で、平家物語のエッセンスを凝縮した巻として知られています。平家物語冒頭の「祇園精舎」と首尾相呼応する内容で、女性の出家譚でもあります。この灌頂巻を「鎮魂」という視点から解説します。

日本女子大学 人間社会学部文化学科 教授　　三田　明弘

演奏

仙台平家琵琶普及会

私共が伝承しております平曲（平家琵琶）は、鎌倉時代に成立し、今日まで語り継がれてきた伝承文化です。平曲は、平家琵琶を伴奏に用いながら「平家物語」（全二百句）を語ります。私達の師である後藤光樹先生(1923～2016)は、戦後、晴眼者として全国で唯一平曲二百句を伝承していた館山甲午先生（1894～1989年 国の記録作成等の措置を講ずべき無形文化財）に、1968年に入門し、2016年9月にご他界されるまで、平曲の普及に尽力されました。古典でありながら、後藤光樹先生の語る平家物語は、現代の私たちの心にも深く響くものでした。師の遺志を継ぎ、日々精進し、平曲の普及に努めてまいりたいと存じます。

仙台平家琵琶普及会 世話人 村山宙子

ＣＤ鑑賞

東日本大震災鎮魂歌　女声三部合唱「明日（あした）を信じて―亡き友に―」

日本女子大学の同窓会、一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会は２０１４年３月、東日本大震災で犠牲になられた方々を悼み鎮魂歌を制作しました。作詞は日本女子大学の校歌作詞者でもある原田夏子氏（桜楓会員、仙台市在住）、作曲は附属高校卒業生で現在新進ピアニストとして活躍している山口友由実氏。震災のあの日の情景から始まり、あしたを信じてきょうをしっかり生きようと歌い終わる歌詞は、震災から日がたつほどに存在感を増します。日本女子大学附属高校コーラス部が初演・ＣＤ化、東北では「宮一女ＯＧ合唱団」が２０１５年に初演してくださいました。多くの方に聴いていただきたいと願っています。

（一社）日本女子大学教育文化振興桜楓会 宮城支部